

明治国際医療大学だより

News from Meiji University of Integrative Medicine

Vol.5

大学情報誌



新入生オリエンテーション

4月6日(金)、入学式を前日に終えたばかりの新入生157名と在学生等50名が体育館に集まり、3学部混合形式によるオリエンテーションを行いました。まずはカルタ取り。新入生に「少しでも早く大学や地域を知ってもらいたい、馴染んでもらいたい」と在学生が、学生生活の日常の一コマを描いたカルタを春休み返上で手作りしました。「はたしてうまく盛り上がるのか?」と在学生も教員も不安を抱いていましたが、予想以上に白熱し、続いて行われた特別ルールソフトバレーやバーベキューも大いに盛り上がりました。バーベキューでは地元産の日吉豚などの食材を堪能し、楽しい時間を過ごしました。入学したばかりで最初は不安そうにしていた新入生たちでしたが、これら新歓行事を通して、多くの友情が芽生えたようです。



平成24年度入学式

4月5日(木)、平成24年度入学式が執り行われ、203名の入学生(学部・大学院)が、本学の一員として迎えられました。新入生を代表し、鍼灸学部の岩瀬豪志君が宣誓を行い、学生生活が実りあるものになるよう努力することを力強く誓いました。

医学教育研究センター

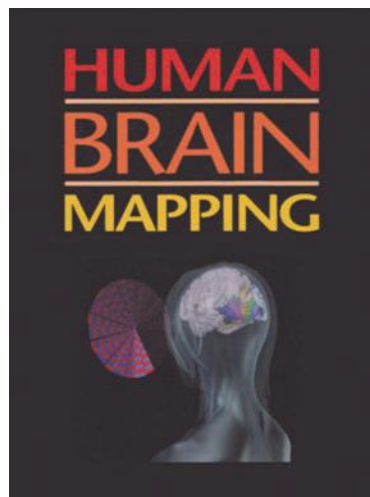
研究紹介

Human Brain Mappingの表紙を飾りました

医学教育研究センター 田中忠蔵名誉教授(脳神経外科学教室)
梅田雅宏教授(医療情報学教室)

本学の田中忠蔵名誉教授(脳神経外科学教室)と梅田雅宏教授(医療情報学教室)らの研究グループが、京都大学人間・環境学研究科認知行動科学講座の山本洋紀博士らと共同研究した論文、“Inconsistency and Uncertainty of the Human Visual Area Loci following Surface-based Registration. Probability and Entropy Maps.”

が、学術誌“Human Brain Mapping”に、掲載され、2012年1月号の表紙を飾りました。



Human Brain Mappingとは?
MRIやMEGなどを用いた、主に脳機能解析についての論文が掲載されている雑誌



梅田教授-新しいMRI装置の前で

論文内容

これまで脳の機能を調べるにはfMRIという撮影法を用いて調べなければならなかったのですが、今回新しく考案した脳機能解析法を用いることによって、通常MRIで得られる脳の構造画像から機能分類が可能となりました。この研究の成果は、脳の一部を損傷した患者が、どのような機能障害が生じるかを予想するなど、臨床応用にも期待されています。

本人のコメント

今年の4月にこれまでとは倍の3T(テスラ)の臨床用MRI装置が導入され、より鮮明な画像を撮影することができるようになりました。今後も精力的に研究を進めていきたいと思っています。

高木賞奨励賞を受賞しました

大学院生 神田浩里君

本学大学院生 神田浩里君の修士論文「鍼灸刺激で誘発されるフレア反応に関する受容体の検討(全日本鍼灸学会雑誌60巻5号802-810ページ)」が、第61回全日本鍼灸学会にて「平成23年度 高木賞奨励賞」を受賞しました。

論文内容

唐辛子の成分であるカプサイシンに反応するTRPV1受容体は、熱刺激にも反応するだけでなく、「灸刺激」や「鍼刺激」にも反応することが明らかとなりました。つまり、鍼灸刺激は唐辛子を辛いと感じるのと同じしくみで皮膚の感覚受容器(センサー)を興奮させ、生体にさまざまな反応を引き起こしていることとなります。

本人のコメント

今回、高木賞奨励賞を受賞し大変うれしく思います。本研究を進めるにあたり、ご指導を賜りました生理学教室 川喜田教授、岡田准教授に厚く御礼を申し上げます。生理学教室では学部時代からお世話になり、フレア反応の機序について3年間楽しく研究をさせて頂いた成果がこの賞に繋がったと思います。この賞を励みに更に精進して参りたいと思います。



※神田君は本学大学院博士前期課程を2010年に修了し、現在兵庫医科大学の大学院後期課程に進学し解剖学(神経科学部門)で研究を続けています。

鍼灸学部 鍼灸学科

国内外のメディアに掲載!! COPDの息切れに鍼治療が有効

鈴木准教授らの研究グループが実証

この度、鍼灸学部臨床鍼灸学教室の鈴木雅雄 准教授と京都大学医学研究科の研究グループは、慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の主訴である労作時呼吸困難に対して、鍼治療が有効であることを世界で初めて実証し、この研究成果は「Archives of Internal Medicine」に掲載されました。この快挙をうけ、5月23日(水)に京都大学の記者室において、鈴木雅雄准教授が新聞各誌の取材を受け、翌日の朝刊各誌に掲載されました。また、これに先立ちREUTERSrやLos Angeles Times等、海外メディアにも大きく取り上げられました。(主な国内掲載誌：朝日新聞 日本経済新聞 産経新聞 京都新聞 読売新聞 共同通信 時事通信)

慢性閉塞性肺疾患(COPD)とは?

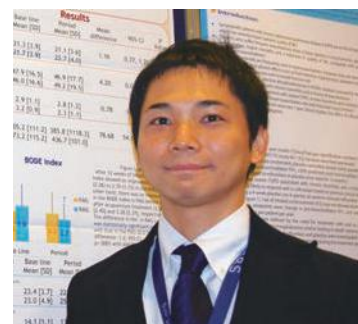
日本では、530万人以上の患者がいるとされ、原因の9割以上がたばこで、喫煙者の約15%が発病するとされています。肺の機能が落ち、症状が進むと歩いたり、食事をしたりするだけで息切れするようになる病気で、

Archives of Internal Medicineとは?

『アーカイブス オブ インターナル メディシン』は、米国医師会が発行している内科系医学専門誌で総合内科・内科系分野から発刊されている医学雑誌133誌の中で8番目に当たるImpact Factor 11.462(2011年)を持っており、医学系臨床10大雑誌に数えられています。

Q1. 「COPD」に興味を持たれたのは何故ですか?

A1. 私はひどい小児喘息患児で入退院を繰り返してしまっていて、小学校は半分程度しか行けていませんでした。小学校5年生の時に祖母が通っていたクリニックで喘息に鍼治療と漢方治療を約半年間受けてから凄く良くなり、それ以来、学校にも通えるようになりました。その影響で私と同じ苦しみを味わっている喘息患児を助けたくて、鍼灸師になろうと決めて明治鍼灸大学に入学しました。大学卒業後、専門知識を増やすために大学院(明治鍼灸大学)に進学しました。大学院では内科学教室の苗村健治先生(現教授)に治療法が少なくて困っている患者さんがいて、何とか出来ないか?と言われ、ある患者さんを紹介して頂きました。その患者さんが、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の患者さんでした。内科外来でボンベから酸素を吸いながら、はあはあ・・と苦しうに順番待ちをしていました。その時、自分が喘息で苦しかった事を思い出して、その患者さんの息切れを何とか出来ないかなと思ひ、それから、当時研究のご指導を受けていた江川雅人先生(現加齢鍼灸学教室教授)とCOPDの鍼治療の方法について指導を頂きまして、その患者さんの治療にあたりました。鍼治療を開始して5週目頃から徐々に息切れが良くなって、



10週目にはかなり息切れが改善して、患者さんも軽い農作業が出来るまでになりました。最終的には1年くらい続けていたら、酸素ボンベの酸素量を減らすことが出来て、患者さんから凄く喜ばれ、私はその患者さんをきっかけにCOPDの息切れと鍼治療について研究する事になりました。

Q2. この研究を進める上で、苦労したことは何ですか?

A2. COPDの鍼治療の研究は常に苦労の連続でした。COPDも細かく言えば色々な病態がありますので、鍼治療に使用するツボ(経穴)はどの組み合わせが一番効果が高いのか、刺した鍼はどれくらい刺激したら良いのか等を見つけなければなりません。さらに、症状は患者さんごとで微妙に違うわけですから、治療効果の最大公約数を見つけ出すのは本当に苦労しました。とりわけ、一番苦労した事は研究チーム作りと予算の確保です。一般的に東洋医学に対して否定的な医師が多いなか、鍼治療を理解して研究に参加してくれる医師は本当に

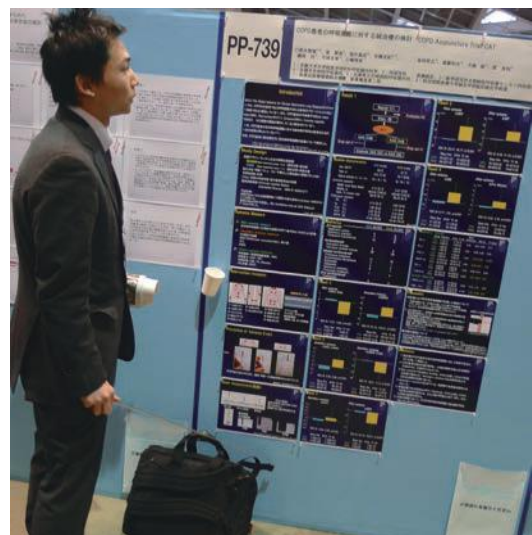
少なかったです。しかし、京都大学大学院医学研究科呼吸器内科の三嶋理晃教授は見識も深く、私を京大呼吸器内科のグループに迎え入れて頂きました。また、同研究科医療統計学の大森崇准教授(現同志社大学)に研究デザインと統計解析などを担当して頂ける事になり、名実共に一流の研究チームを作ることが出来ました。それには2~3年程度かかりました。しかし、当時は研究費が無かったのでチームが出来ても研究がスタート出来ずにいましたので、研究費を獲得するためにグラントを何本も書いて、書いて、書きましたが、なかなか当てる事が出来ませんでした。ようやく全日本鍼灸学会のグラントが当たり研究のスタートが切れました。研究がスタートしたら、今度は研究が上手く進むか心配で眠れない日々も続きましたが、ようやく一段落しました時には10年近く経過しており、研究の構想から含めるとトータルで15年間かかりました。

Q3. 今、在学中の学生に対して、一言お願いします。

A3.

Life is a challenge,
meet it
Mother Teresa.

臨床鍼灸学教室(内科鍼灸グループ)のOB・OGと一緒に年1回の研修旅行(滋賀県三井寺にて)

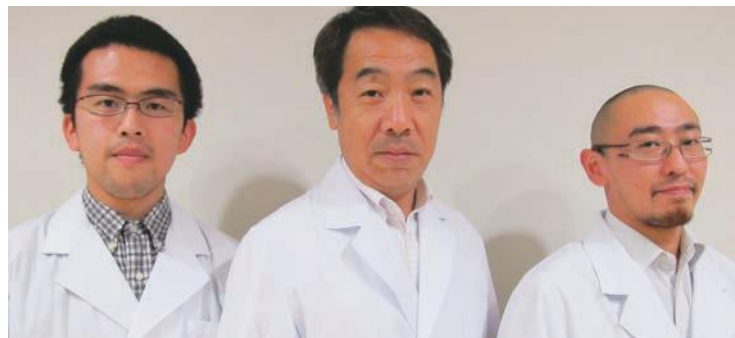


第50回 日本呼吸器学会学術講演会にて一般発表

保健医療学部 柔道整復学科

第5回 教室紹介

「応用柔道整復学Ⅱユニット」



担当授業科目

- スポーツ柔道整復学(保健医療学部)
- スポーツ柔道整復学実習(保健医療学部)
- トレーニング論(保健医療学部・鍼灸学部)
- トレーニング実習(保健医療学部・鍼灸学部)
- テーピング実習(鍼灸学部)

- ◀長尾 淳彦 教授(中央)
- 煙山 奨也 助教(右)
- 丸山 顕嘉 助手(左)

ユニット紹介

当ユニットでは「柔道整復師(はり師・きゅう師)の資格を活かした体育・スポーツ分野への医科学的アプローチ」、「柔道整復師(はり師・きゅう師)の資格を活かした障害者支援活動」をテーマとしています。テーピング(スポーツ、メディカル)やアスレティックトレーニングなどのスポーツ現場でのアスリートサポートに関する講義・実習を担当しています。また、アスリートだけでなく、一般の方、障害者の方々の外傷・障害に対するテーピングや運動療法などを臨床現場で実践できる知識・技術の習得を目的とした教育を行っております。

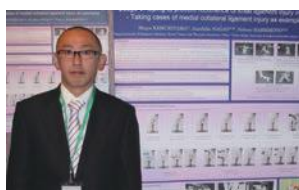


教育

「スポーツ柔道整復学」「スポーツ柔道整復学実習」では体育・スポーツ現場において柔道整復師として行える各種アプローチを理解・実践することを目的としています。具体的にはアスリートに特有な外傷・障害の発生メカニズムを理解して、テーピングやアスレティックリハビリテーションの実践を学びます。「トレーニング論」「トレーニング実習」ではスポーツトレーニングの構造全体を点検・整理してトレーニング計画立案から実施までを理解・実践することを目的としています。



研究テーマと活動



主な研究テーマは以下の通りです。

- ・アスレティックトレーナーの技術に関する研究・開発
- ・テーピングの技術に関する研究・開発
- ・アスレティックトレーニングに関する研究
- ・アスレティックリハビリテーションに関する研究
- ・柔道整復師の歴史と制度に関する調査・研究
- ・地域医療における柔道整復師の有効活用に関する調査・研究
- ・柔道整復師による超音波観察に関する研究

オリンピック開催年次に開催国で行われるPre-Olympic Congress、WHOのTraditional Medicine学会、柔道世界選手権開催年次に行われる柔道医学科学学会などに「柔道整復」に関することを発表しています。

「7期生の喫煙防止の取り組み」



学年アドバイザー 矢野恵子

平成24年度看護学部1年生と1年生の学年・学生アドバイザーでは、卒業までの4年間を通じた目標として「喫煙防止」を掲げ、今、そのための様々な活動について話し合っています。例えば、学生による禁煙キャンペーンや禁煙ボランティア活動、また、学外の禁煙指導に関する専門家を招いた講義などです。多くの学生・保護者の皆様、そして教職員の「喫煙防止について」の賛助をお願い申し上げます。

◀1年生学年アドバイザー
(左から)矢野恵子、藤田智恵子、大城和恵、梶谷康子、小石真子

6月18日(月)の1年生クラスアワーにおいて、南丹保健所の保健師さんに来ていただき、禁煙の大切さについてのお話しをしていただきました。喫煙が内蔵疾患だけではなく美容にも影響することを、イラストや実際の写真を使って分かりやすく説明していただき、皆、真剣な眼差しで聞き入っていました。



タバコの煙に含まれている様々な有害物質(サンプル)の説明を受けているところです。実にたくさんの物質が含まれている事実には驚いていました。



喫煙を続けると内蔵にどのような変化が起きてくるのかを説明するためのモデルです。こういった教材を使うことで、外からは見えない体の中での変化について理解することができました。



教員が手にしているビンの中身は、一年間タバコを吸い続けることで体に入ってくるタールの量です。真黒な色とずしりとした重みが、禁煙の重要性を実感させてくれました。

Topics

Meiji
University of
Integrative
Medicine



第15回 日吉ダムマラソン大会 参加ランナーをサポート!

4月22日(日)、南丹市日吉町の府民の森ひよしを発着点に「第15回日吉ダムマラソン」が開催され、保健医療学部柔道整復学科の学生達が、教員とともに参加ランナーのサポートを目的としたスポーツケア活動を行いました。今回の参加ランナーの数は約2500名で、南丹市だけでなく県外からも多くの参加者が訪れました。当日は、強い風雨となりましたが、本学のサポートブースで行った「ウォーミングアップジェルの塗布」、「アイシング」には延べ180名以上の参加ランナーが訪れ、好評を得ました。学生達は、次々と訪れるランナーに対して大学での授業や実習で学んだ知識や技術を発揮させ、ケア活動を行っていました。柔道整復学科では、本大会以外にも地域スポーツを支援する活動として、丹波ロードレースマラソンや亀岡社会人サッカーリーグにおいて、スポーツの特性に応じ、柔道整復師の特性を活かしたスポーツケア活動を実施しています。



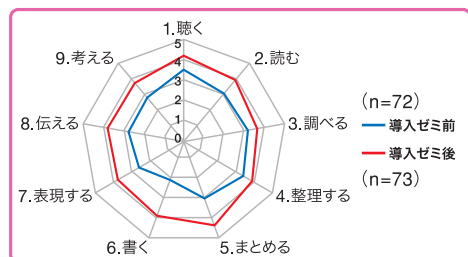
「導入ゼミ」大学生としての学びのステップ

「導入ゼミ」担当 小山教代

看護学部は開設7年目に入り、平成24年度入学生から新カリキュラムの教育になりました。“多様化”する学生への対応の一つとした初年次教育の新設科目「導入ゼミ」について紹介します。

科目の目的は、第1に看護や医療に関する未知の広い世界に関心を持ち、大学で学ぶ姿勢を整えること、第2に「読み」「書き」「考える」能力を鍛え、基本的な学習マナーを身につけることです。ゼミは、1グループ6～7名の12グループ編成とし、教員は、教養科目の教授と看護学の教授・准教授・講師・助教の、1G2人体制で担当しました。目標のひとつに、大学で学ぶ基本的な9つのスタディー・スキル：①聴く ②読む ③書く ④考える ⑤調べる ⑥整理する ⑦まとめる ⑧表現する ⑨伝える を身につけることができる、をあげています。ゼミによって進め方や内容は異なりますが、「学んだことのない学び方を学んだ」「協力することを学んだ」「調べ方がわかった」「発表することに少し慣れた」等の感想が聞かれました。9つのスタディー・スキルについて、「導入ゼミ」前・後の自己評価は、図のとおりで全体的にアップした成果がみられます。

引き続き科目「教育の基礎」では、大学生としての学びについて考えたうえで、看護に求められる教育的マインドとその技術について学んでいきます。こうした初年次教育の取り組みが、学びのステップとして今後の学習姿勢と成長につながることを期待し、楽しみにしています。



柔道部活動記

柔道部は本学創立当初から創設された伝統のある部です。経験者、未経験者を問わず、やる気のある方なら大歓迎です。また、入学金や授業料の優遇措置のある柔道部特別奨学金制度がありますので、お知り合いで入学希望者がいらっしゃれば、入試事務室まで、お問い合わせください。

第63回京都学生柔道大会 男子2部 3位(2012年5月3日)
第62回関西学生柔道優勝大会 男子2部 2回戦敗退(2012年5月27日)

部長：山崎立実(保健医療学部教授) 部員：稲垣博聡(保健医療学部2回生)
監督：林 弘典(保健医療学部准教授) 野田大智(保健医療学部1回生)
コーチ：芝 貴洋(鍼灸学研究科2回生) 中村智紀(保健医療学部1回生)
主将：篠田真昭(保健医療学部4回生) 藤 亮太(保健医療学部1回生)
副主将：野村尚吾(保健医療学部3回生) 丸内将希(保健医療学部1回生)
角谷博光(保健医療学部3回生) 丸山知真(保健医療学部1回生)
杉田 走(鍼灸学部1回生)



▲京都学生大会後

柔道の創始者である嘉納治五郎は、「柔道は、心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し、斯道の神髄を体得する事である。そうして、是に由って己を完成し、世を補益するが柔道修行の究極の目的である」、つまり社会貢献こそが柔道修行の究極の目的であると述べています。そこで柔道部では、年数回学内の清掃活動を行っています。



◀入学式前日の清掃活動

東日本大震災 復興支援募金活動



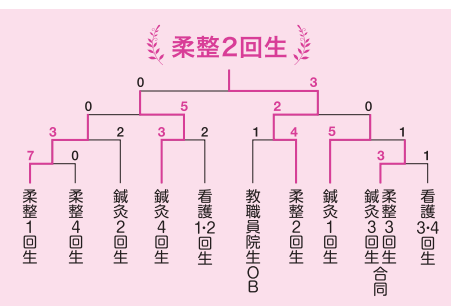
昨年度に引き続き、看護学部の学生有志が卒業式(3月15日)、入学式(4月5日)に募金活動を行い、65,247円の義援金が集まりました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

学食 花水木 「ハンバーガー」はじめました!

学生食堂「花水木」では、「おふくろの味」をテーマに、旬の地元野菜を使用して定食90種・丼70種の中から、日替わりで5品を提供しています。人気は水曜日のお楽しみサービスランチ「花水木セット」。5月からメニューに加わったハンバーガーも学生の皆さんに好評です。



第17回 学長杯野球大会



ICカード学生証を発行

今年度より、学生証がICカードになりました。1枚のカードで身分証明はもちろん、電子マネーE-dyと図書カード機能を搭載しています。今後はカードリーダーを使用した授業の出席確認を行うとともに、学生食堂や売店、証明書発行等でのキャッシュレス化を図っていく見通しです。

OPEN CAMPUS 2012

8/19(日)

★鍼灸学部

学部紹介：にじいろメージ(明治)～附属病院研修編～
ベッドサイドティーチング：7つのテーマから選択「鍼灸体験」等

★保健医療学部

模擬授業：アスレティックトレーナーと柔道整復師の関係
体験実技：プロの技を伝授します！手技を学ぼう！

★看護学部

模擬授業：看護の魅力と補完代替療法
体験実技：フィジカルアセスメント、赤ちゃんのお世話、手洗い、高齢者疑似体験、リンパドレナージ、血圧測定、SPO2測定

9/23(日)

★鍼灸学部

学部紹介：👍いいね！明治～就職編～
ベッドサイドティーチング：7つのテーマから選択「レディース」等

★保健医療学部

模擬授業：ストレッチングのウソ？ホント？
体験実技：手関節のキャスト固定、スポーツトレーナーとは？

★看護学部

模擬授業：最近の看護における教授法
体験実技：フィジカルアセスメント、赤ちゃんのお世話、手洗い、高齢者疑似体験、血圧測定、SPO2測定

行事予定

日程	行事	日程	行事	日程	行事	
9月	2日(日)	大学説明会	10月	20日(土)~21日(日)	たには祭(学園祭)	
	18日(火)	後期通常授業開始	11月	4日(日)	大学説明会	
	23日(日)	オープンキャンパス		23日(金)	祝祭日授業	
10月	3日(水)	創立記念日	12月	5日(水)	大学説明会	
	8日(月)	祝祭日授業			24日(月)	祝祭日授業
	17日(水)	大学説明会			26日(水)	年末通常授業終了
1月	9日(水)	年始通常授業開始	2月	8日(金)	後期通常授業(試験含む)終了	
	20日(日)	大学説明会			13日(水)	大学説明会
3月	15日(金)	卒業式・卒業記念パーティー				

平成24年度 京カレッジ市民教養講座

大学コンソーシアム京都 京カレッジ市民教養講座 メインテーマ:「サクセスフルエイジングに向けて」

場所 キャンパスプラザ京都(京都駅前) 受講料 **無料**

開催月日	区分	サブテーマ
平成24年9月2日(日) 10時30分~15時30分	10:30~12:30 講演(午前の部)	生涯介護不要の生活をするためにどうする? (講演:臨床柔道整復学IIユニット 岡本武昌教授・行田直人准教授)
	13:30~15:30 講演(午後の部) 内容:講演とデモ90分、質問30分	
平成24年10月28日(日) 10時30分~15時30分	10:30~12:30 講演(午前の部)	男女の更年期の健康と老年期の性~アロマ演習を含む~ (講演:母性看護学ユニット 夏山洋子講師・糠塚亜紀子講師)
	13:30~15:30 講演(午後の部) 内容:講演90分、アロマセラピー演習30分	

シャトルバス時刻表

※電車のダイヤ改正により年度途中にバス運行時刻が変更となる場合があります。

■桂エリア 学生専用回数券(20枚綴り) 桂エリア~大学 6000円(@300円) ■園部エリア 学生専用回数券(20枚綴り) 園部エリア~大学 3,000円(@150円) 日吉駅~大学 2,000円(@100円)

往路	復路			
停留所名/系統番号	77	77	77	77
阪急上り(河原町方面)	8:01	9:44		
阪急下り(梅田方面)	8:01	9:48		
桂駅東口	8:05	9:52		
JR上り(京都方面)	8:07	9:52		
JR下り(大阪方面)	8:03	9:53		
JR桂川駅前	8:11	9:58		
境谷大橋	8:23	10:08		
明治国際医療大学	9:13	10:55		
授業開始時間	9:30	11:10		
授業終了時間	15:00	16:40	18:20	
明治国際医療大学	15:20	17:00	18:40	20:00
境谷大橋	16:02	17:42	19:22	20:42
JR桂川駅前	16:12	17:52	19:32	20:52
桂駅東口	16:20	18:00	19:40	21:00

往路	復路					
停留所名/系統番号	45	45	45	45	45	45
園部大橋	8:21	9:27	10:21	12:21	13:41	
JR下り着(京都方面)	8:25	9:31	10:20	12:20	13:43	
園部駅西口	8:29	9:35	10:29	12:29	13:49	
木崎町	8:30	9:36	10:30	12:30	13:50	
曾我谷口	8:31	9:37	10:31	12:31	13:51	
日吉駅前	8:43	9:49	10:43	12:43	14:03	
附属病院前	8:48	9:54	10:48	12:48	14:08	
明治国際医療大学	8:49	9:55	10:49	12:49	14:09	
授業開始時間	9:30		11:10	13:30	15:10	
授業終了時間	11:00	12:40	15:00	16:40	18:20	
附属病院前	11:15	13:10	15:15	16:55	18:31	20:12
明治国際医療大学	11:16	13:11	15:16	16:56	18:32	20:13
日吉駅前	11:21	13:16	15:21	17:01	18:36	20:17
曾我谷口	11:32	13:27	15:32	17:02	18:47	20:28
木崎町	11:33	13:28	15:33	17:03	18:48	20:29
園部駅西口	11:35	13:30	15:35	17:05	18:51	20:32
JR上り着(京都方面)	11:40	13:40	15:39	17:28	19:01	20:42
園部大橋	11:43	13:38	15:43	17:13	19:04	20:45

以下の期間、桂エリアのバスを運休いたします。(予定)

夏季休業中:平成24年8月11日(土)~9月2日(日) 冬季休業中:平成24年12月29日(土)~1月7日(月) 春季休業中:平成25年3月2日(土)~3月31日(日)

※園部エリアについては、通常運行。

編集後記

今年も203名の新しい仲間を迎えて新年度がスタートし、早3ヶ月、初々しかった新入生も上級生と変わらない逞しさを備えてきたようです。学生諸君には夏休みを目前に控えて、そろそろ期末試験の準備そして国家試験に備えた勉強も本格化しなければならない時期でもありますが、昨年来全ての原発の停止に伴って国を挙げて節電が奨励されています。今夏は関西電力から6月から9月にかけて15%の節電要請(大飯3号機の再稼働で10%に訂正)が出されました。本学でも要請に応じて全学の空調を原則28°Cに設定、不使用教室の消灯、廊下等の減灯など様々な節電策を講じているところです。学生の皆さんには汗をかきつつの授業、自習あるいはクラブ活動などで忍耐と不自由さを強いる面もあるかとは思いますが、御協力をお願いします。

(文責:松浦忠雄)

当大学だよりに関するご意見ご要望および記事のご投稿は、大学事務局 教学課までお願いします。



財団法人日本高等教育評価機構より大学評価基準を満たしていることと認定されました。